



次は、

株式会社愛媛CATV

によるプレゼンです。

質問は、Sli.doで受付けます！▶

<https://www.sli.do/>

#GIGAPT206



教育×CATV（ケーブルテレビ）

CATV網を活用した安全安心で生き生きとした教育環境のご提案

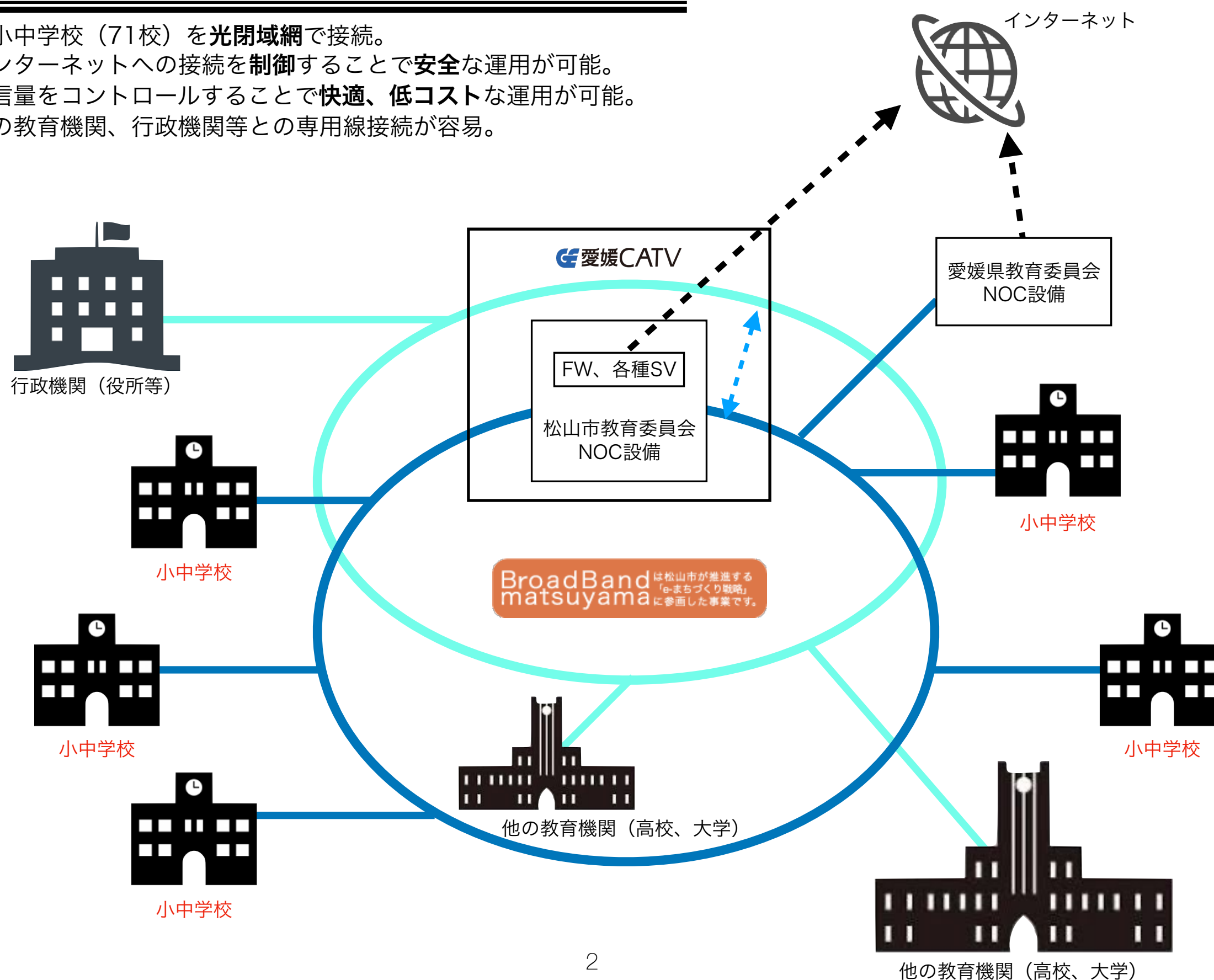


実績（ネットワークインフラ）

愛媛県松山市における小中学校イントラネット

市内小中学校（71校）を光閉域網で接続。

- ・インターネットへの接続を**制御**することで**安全**な運用が可能。
- ・通信量をコントロールすることで**快適**、**低コスト**な運用が可能。
- ・他の教育機関、行政機関等との専用線接続が容易。



実績（ネットワークインフラ・アプリケーション）

地域BWAを活用した遠隔授業

2015年度～人口減少社会におけるICTを活用した教育の質の維持と向上に係る実証事業（文科省）

》》実施体制

プログラム・システムの妥当性監修

慶應義塾大学SFC研究所

インフラの提供・地元運営

(株)愛媛CATV

遠隔講座開発提供

日本論理コミュニケーション技術振興センター (社会人向け)

(株)テレコンサービス (中学生向け)

<運営協力・共催>

愛南町（生涯学習課）

愛南町教育委員会（学校教育課）



実績（ネットワークインフラ・アプリケーション）

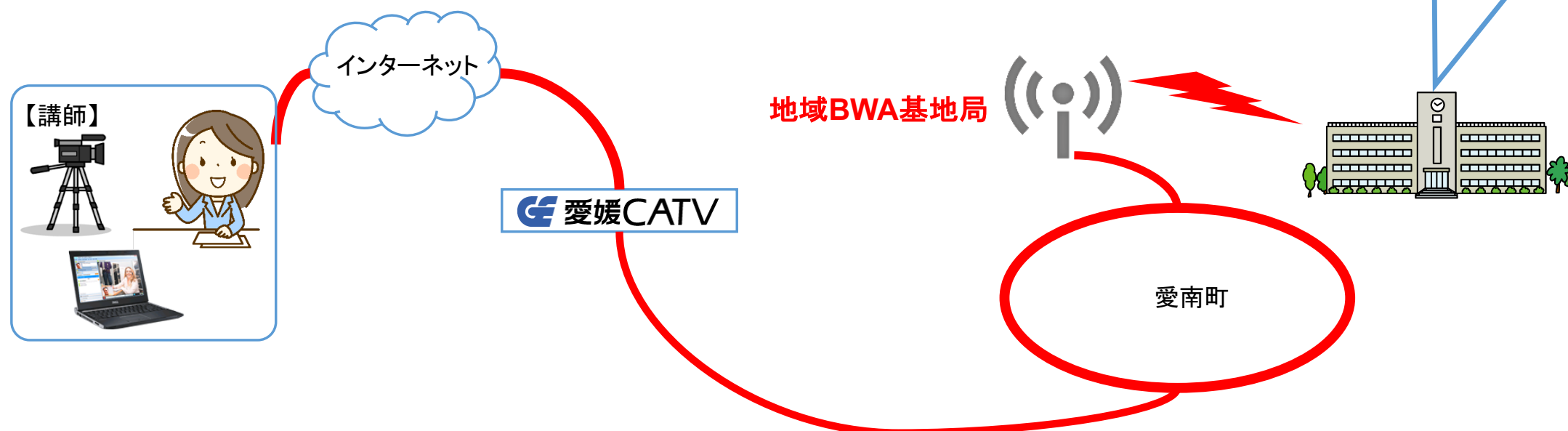
地域BWAを活用した遠隔授業

地域BWAとは

地域広帯域移動無線アクセス（地域BWA: Broadband Wireless Access）システムは、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド（条件不利地域）の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システム。

》》遠隔授業に地域BWAを活用するメリット

- ・ネットワーク回線の設備のない場所でも実施可能。
- ・既存回線のセキュリティポリシーを回避して実施可能。
- ・地域通信事業者の閉域網によってセキュアを確保可能。
- ・低コストでリッチコンテンツを扱うことが可能。
- ・ローコストな通信回線。



実績（アプリケーション）

遠隔教育を用いた地域独自教育コンテンツ

愛媛新聞社の企画「えひめ国体・えひめ大会 高校生記者養成講座」にテレビ会議環境（タブレット、通信回線等）を提供しています。愛媛県内21校で実施される本企画は愛媛新聞社と参加高校をテレビ会議で結ぶことで多数の高校とのやりとりを合理的に実現しています。

済美高

国体高校生記者養成講座

2016年2月24日（水）（愛媛新聞）

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#) 文字 小 大
[印刷](#) [保存](#)


2017年に開かれるえひめ国体・えひめ大会を盛り上げるために高校生が愛媛新聞に掲載する「国体新聞づくり」に向け20日、松山市の済美高校で記者養成講座があり、1年生7人が参加しました。国体終了まで松山市内で開催される競技の準備状況をはじめ競技の模様や話題などを発信していきます。

講座で参加者は、愛媛新聞社の担当者から取材や記事の書き方などの基本を学びました。新聞を教材にして5W1Hの必要性教わったり、生徒が国体新聞の概要を把握するための模擬インタビューなどを行ったりして記事作成のポイントを学びました。また愛媛新聞本社と行うテレビ電話での交信テストも行い、新聞社の担当者が国体の概要などを話すなどしました。

愛媛新聞社ホームページより



愛媛新聞社



通信回線



実績（アプリケーション）

遠隔教育を用いた地域独自教育コンテンツ

愛媛新聞社高校生国体記者養成講座における遠隔授業の活用

愛媛国体開催（2017年）に向けて愛媛県内高校21校の高校生による取材記者養成講座（愛媛新聞社主催、企画）において各高校と愛媛新聞社の講師を遠隔システムにて結び講座の運用、手軽なコミュニケーションツールとして活用。

ぎょしょく教育における遠隔授業の活用

城辺小学校の「ぎょしょく教育」において、遠隔授業を実施。（10月17日）

城辺小学校の教室と沖合の養殖場を遠隔システムで繋ぎ、現場から水産会社のスタッフによる養殖場の説明や、餌やりなどの実際の作業の実演を行った。良好な映像・音声のもと、双方からの呼びかけや、児童からの質問に現場スタッフが答えるなど、20分以上にわたり沖合と教室間で大変スムーズな授業が行われた。



城辺小学校教室（児童46名）



深浦湾沖の養殖場（養殖魚やエサやり、機械の説明など）

実績（プラットフォーム）

CATV事業者間連携による通信と放送を用いた遠隔教育

J:COM中野×愛媛CATV連携による教育支援

目的

全国で初めてCATV2社がサービスエリアを超え、相互協力により水産版の食育「ぎょしょく」の授業をサポート。愛媛CATVでは地域BWAを使用し、ユニタス性の高い環境で発信。CATV事業者の広域連携によるスムーズな遠隔授業の実現を目指すとともに、将来的な教育分野への参画の可能性を探る。この模様は両社のコミュニティチャンネルで生中継。

番組名

愛媛県愛南町から遠隔教育
中野本郷小学校・ぎょしょく教育

放送日時

2018年12月8日(土) 8:40～10:30

チャンネル

*** 生中継**

J:COMチャンネル中野 (15万世帯)

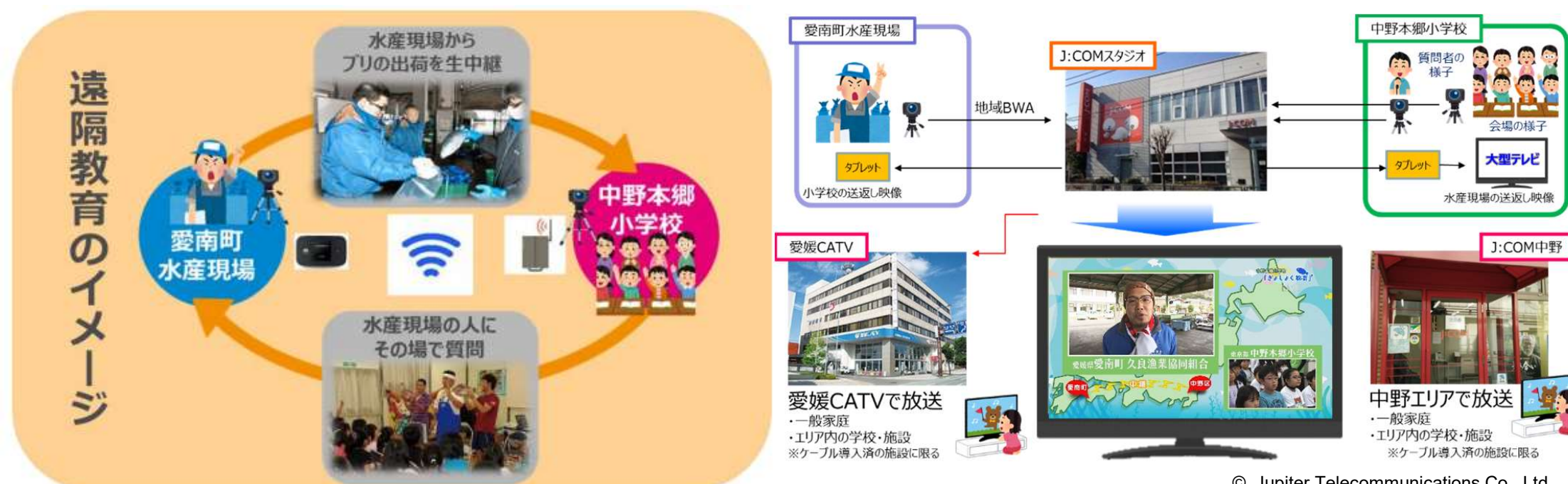
愛南たうんチャンネル ほか (27万世帯)



地域情報アプリ「ど・ろーかる」でも同時ライブ配信

愛媛CATV・J:COM 連携イメージ

愛媛県愛南町と東京・中野本郷小学校を回線で繋ぎ、食育授業をサポート。コミチャン放送で両エリアの小学校の授業に活用



実績（プラットフォーム）

CATV事業者間連携による通信と放送を用いた遠隔教育

愛媛CATV×J:COM中野局連携による教育支援

生中継 オンエア画像

食べ物の有難さ、命の尊さを学ぶ「いのちの授業」



小学生が漁業関係者とリアルタイムで会話をしながら、魚の出荷シーンを見ることができ、実際に魚が食卓に並ぶまでの理解を深めました。



授業を終えて...

(左から)
J:COM中野・千葉局長
愛南町水産課・兵頭氏
中野本郷小・橋浦校長
愛媛CATV・白石常務

愛媛県愛南町水産課 兵頭課長代理

「過去6回遠隔授業を実施したが、東京では初、掛け合いもスムーズで、最も良い遠隔授業になった」

中野本郷小学校 橋浦校長

「現場からの映像は、児童の視覚から訴えかけ、より生産者との近い存在に感じられたと思う」

愛媛CATV 白石常務取締役

「教育分野においてCATVの優位性を提示できた」

新聞、業界誌でも話題に！



ケーブル新時代 3月号

プラットフォーム・コンテンツ

ケーブルテレビ事業者は

地域の人、文化、歴史について、コンテンツを多数制作

ケーブルテレビ連盟では、各地域の事業者の取り組みを毎年グッドプラクティスとして表彰

各事業者の 取り組み事例	＜取り組みの概要＞	＜審査員講評＞
愛媛CATV×J:COM連 携による教育支援 愛媛CATV J:COM東京	・愛媛CATVとJ:COM中野の2社がサービスエリアを超え、相互協力により、水産版の食育授業「ぎょしょく」をサポート。 ・遠隔地連携で東京の小学生が愛媛の漁業関係者とリアルタイムで会話し、魚の出荷作業を生中継で学ぶ授業を行った。	・都市と地方を結び、自前のインフラを活用したケーブルテレビならではの素晴らしい内容。 ・この授業は現地で体験するに等しい感動を与えてくれる。 ・漁業だけでなく他の産業、あるいは他の教育的な取り組みにも応用できる。
「上田地域最初の歴史 書」再復刻の取り組み 上田ケーブルビジョン	・明治時代に編纂された上田地域の歴史を学ぶ原点ともいえる歴史書「信濃国小縣郡年表」を39年振りに再復刻。 ・市民が郷土史を再認識する場として、本書で学ぶ13回の連続講座を毎月開催した。	・地域を知るケーブルテレビだからこそできること。 ・地域の記録、伝承といったケーブルテレビが担うべき取り組みが出来ていることを高く評価する。
進化する若者ディレク ターネットワーク ケーブルテレビ富山	・高校生が出演・参加する番組に「高校生ディレクター制度」を導入し、高校生による番組制作を7年間支援してきた。 ・継続してきたことで、年々高校生のネットワークが拡大。 ・去年は高校生約100名が参加し、自主制作映画も制作。	・教育にも役立ち、地域の高校生に体験をもってケーブルテレビの認知してもらう活動。 ・活動を7年以上継続していることが素晴らしい。長く続けていただきたい。
となみ野むかしがたりによ る地域文化の伝承 となみ衛星通信テレビ	・砺波市、南砺市、小矢部市に伝わる「むかしがたり」合計102話を地域内の取材を元に毎月番組を放送するとともに番組ガイド誌にも連載。さらに、設立30年目の節目を記念し絵本化を行い地域の教育機関へ無料配布。	・地域の伝承をアニメ化ということでビジュアルに伝えて地域愛を育む効果が期待できる。 ・放送での蓄積を書籍で固定化するというメディアミックスの取り組みを評価。
メディアミックスで伝える 愛情いっぱいの給食 入間ケーブルテレビ	・入間市の小学校では、全校に厨房があり栄養士も配置し、手作り給食が実現しています。その愛情あふれる給食の魅力を、テレビ・ラジオ・フリーペーパーのメディアミックスで地域の皆さんにお届けしています。	・給食という日常的なテーマをベースにしながら、地域の生産者とも繋いでいる点が良かった。 ・コミュニティFMとの連動や紙媒体のフリーペーパーも使うなど、それぞれメディアミックスの特性も捉えている点が評価できる。



GIGAスクール時代にケーブルテレビは安全安心で生き生きとした教育現場に最適です！

ネットワークインフラ

「地域通信事業者」ならではの地域に閉じた通信網が安全で快適な通信環境を提供可能です。

アプリケーション

「地域密着」がゆえ、必要なアプリケーションの提供や運用における細やかなサポートが可能です。

プラットフォーム

放送と通信を組み合わせたり、事業者間の連携により地域間のコミュニティを活性化が可能です。

コンテンツ

コンテンツ流通システムの活用により全国のケーブルテレビ局が制作した豊富なコンテンツを活用したり、地域からの発信を行うことで子供たちに幅広い情報提供と価値観の創造に寄与します。